



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 リンテック株式会社
 コード番号 7966 URL <http://www.lintec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 弘之
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 小川 純一
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5248-7713

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	186,523	23.4	15,819	22.2	15,414	26.8	10,065	16.3
29年3月期第3四半期	151,107	5.3	12,941	9.9	12,158	17.0	8,655	9.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 9,709百万円 (333.6%) 29年3月期第3四半期 2,239百万円 (63.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	139.51	139.28
29年3月期第3四半期	119.96	119.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	284,176	183,670	64.4
29年3月期	274,199	178,690	64.9

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 182,923百万円 29年3月期 177,884百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		33.00		33.00	66.00
30年3月期		33.00			
30年3月期(予想)				33.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	245,000	18.9	20,000	20.5	19,200	22.4	12,500	9.2	173.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	76,564,240 株	29年3月期	76,564,240 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	4,412,735 株	29年3月期	4,412,515 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	72,151,620 株	29年3月期3Q	72,152,441 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

・決算補足説明資料は、本日、当社ホームページ(<http://www.lintec.co.jp>)に掲載する予定です。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では個人消費や設備投資の増加により引き続き景気拡大基調が持続し、欧州においても緩やかな回復基調が継続しました。中国では各種政策効果もあり景気は持ち直しの動きが続きました。一方、我が国においては、好調な外需や円安により企業収益が改善したことに加え、雇用環境の改善を背景に個人消費も緩やかに持ち直すなど、総じて堅調に推移しました。

このような経営環境の中、当社グループでは新中期経営計画「LIP-2019」を昨年4月からスタートさせ、「イノベーションをさらに深化させ、新たな成長にチャレンジ」という基本方針の下、重点テーマに積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は186,523百万円（前年同期比23.4%増）、営業利益は15,819百万円（同22.2%増）、経常利益は15,414百万円（同26.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10,065百万円（同16.3%増）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

【印刷材・産業工材関連】

当セグメントの売上高は91,125百万円（前年同期比47.8%増）、営業利益は2,315百万円（同54.1%増）となりました。当セグメントの事業部門別の売上げの概況は次のとおりです。

(印刷・情報材事業部門)

シール・ラベル用粘着製品については、国内では粘着紙は食品関連が低調であったものの、物流・通販関連が好調に推移し、粘着フィルムは飲料用キャンペーンラベルや化粧品などのアイキャッチラベル需要によって順調に推移しました。海外ではアセアン地域において堅調であったほか、昨年末に買収した欧米子会社の売上げが加わりました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ増加となりました。

(産業工材事業部門)

国内では総じて低調でありましたが、二輪を含む自動車用粘着製品やウインドーフィルムがアジア地域において堅調に推移したほか、昨年末に買収した欧米子会社の売上げが加わりました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ増加となりました。

【電子・光学関連】

当セグメントの売上高は66,733百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は9,455百万円（同29.3%増）となりました。当セグメントの事業部門別の売上げの概況は次のとおりです。

(アドバンストマテリアلز事業部門)

半導体関連粘着テープおよび関連装置は、スマートフォン用やクラウドサーバー用などの需要が好調であったことにより大幅に増加しました。また、積層セラミックコンデンサ関連テープについても、スマートフォン用や自動車用などの需要が好調であったことにより増加しました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ増加となりました。

(オプティカル材事業部門)

液晶ディスプレイ関連粘着製品は、販売数量は堅調に推移したものの、販売単価下落の影響を大きく受けました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ減少となりました。

【洋紙・加工材関連】

当セグメントの売上高は28,664百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は3,953百万円（同2.2%減）となりました。当セグメントの事業部門別の売上げの概況は次のとおりです。

(洋紙事業部門)

主力のカラー封筒用紙は低調であったものの、工業用特殊紙や耐油紙などが堅調に推移しました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ増加となりました。

(加工材事業部門)

FPCカバーレイ用剥離紙や光学関連製品用剥離フィルム、合成皮革用工程紙などが好調であったほか、炭素繊維複合材料用工程紙についてもレジュー用を中心に堅調に推移しました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は284,176百万円となり、前連結会計年度末に比べて9,977百万円の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「現金及び預金」の増加	6,532百万円
・「受取手形及び売掛金」の増加	6,685百万円
・「たな卸資産」の増加	2,667百万円
・「有形固定資産」の減少	△1,214百万円
・「のれん」の減少	△3,550百万円

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は100,505百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,997百万円の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「支払手形及び買掛金」の増加	9,268百万円
・「未払法人税等」の減少	△1,158百万円
・「長期借入金」の減少	△3,021百万円

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は183,670百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,979百万円の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「利益剰余金」の増加	5,303百万円
-------------	----------

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成29年11月9日に公表した業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,060	51,592
受取手形及び売掛金	66,801	73,487
たな卸資産	34,584	37,252
その他	5,117	4,876
貸倒引当金	△114	△124
流動資産合計	151,449	167,084
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	31,397	32,599
機械装置及び運搬具（純額）	27,293	25,360
土地	11,057	11,078
建設仮勘定	2,163	1,705
その他（純額）	1,958	1,913
有形固定資産合計	73,871	72,656
無形固定資産		
のれん	34,558	31,008
その他	4,000	3,413
無形固定資産合計	38,559	34,422
投資その他の資産		
その他	10,423	10,110
貸倒引当金	△105	△97
投資その他の資産合計	10,318	10,013
固定資産合計	122,749	117,091
資産合計	274,199	284,176

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,057	54,326
短期借入金	641	711
1年内返済予定の長期借入金	3,051	3,060
未払法人税等	3,098	1,940
役員賞与引当金	90	70
事業構造改善引当金	—	746
その他	12,460	11,975
流動負債合計	64,401	72,830
固定負債		
長期借入金	17,795	14,773
環境対策引当金	135	133
退職給付に係る負債	12,362	12,374
その他	814	392
固定負債合計	31,107	27,674
負債合計	95,508	100,505
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,201	23,201
資本剰余金	26,829	26,829
利益剰余金	131,247	136,551
自己株式	△7,714	△7,715
株主資本合計	173,563	178,866
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	775	710
為替換算調整勘定	6,938	6,649
退職給付に係る調整累計額	△3,392	△3,302
その他の包括利益累計額合計	4,320	4,057
新株予約権	186	219
非支配株主持分	619	527
純資産合計	178,690	183,670
負債純資産合計	274,199	284,176

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	151,107	186,523
売上原価	111,413	138,702
売上総利益	39,694	47,821
販売費及び一般管理費	26,752	32,001
営業利益	12,941	15,819
営業外収益		
受取利息	169	164
受取配当金	90	271
固定資産売却益	12	18
受取保険金	226	9
その他	261	231
営業外収益合計	761	696
営業外費用		
支払利息	22	169
固定資産除却損	491	348
為替差損	651	387
支払補償費	60	54
その他	318	141
営業外費用合計	1,544	1,101
経常利益	12,158	15,414
特別利益		
投資有価証券売却益	—	343
固定資産売却益	121	—
特別利益合計	121	343
特別損失		
事業構造改善引当金繰入額	—	972
特別損失合計	—	972
税金等調整前四半期純利益	12,280	14,785
法人税、住民税及び事業税	3,220	4,306
法人税等調整額	535	494
法人税等合計	3,756	4,800
四半期純利益	8,523	9,984
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△131	△81
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,655	10,065

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	8,523	9,984
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	136	△64
為替換算調整勘定	△6,624	△296
退職給付に係る調整額	204	86
その他の包括利益合計	△6,284	△274
四半期包括利益	2,239	9,709
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,443	9,801
非支配株主に係る四半期包括利益	△203	△91

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	印刷材・産 業工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	61,670	61,972	27,464	151,107	—	151,107
セグメント間の 内部売上高又は振替高	40	49	11,480	11,569	△11,569	—
計	61,711	62,021	38,944	162,677	△11,569	151,107
セグメント利益	1,502	7,310	4,042	12,855	86	12,941

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	印刷材・産 業工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	91,125	66,733	28,664	186,523	—	186,523
セグメント間の 内部売上高又は振替高	41	75	11,583	11,700	△11,700	—
計	91,166	66,808	40,248	198,224	△11,700	186,523
セグメント利益	2,315	9,455	3,953	15,724	94	15,819

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。